

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公表番号】特表2009-518094(P2009-518094A)

【公表日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2008-543912(P2008-543912)

【国際特許分類】

A 6 1 M 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月9日(2009.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一つのプリスタパックの開いたプリスタポケットから薬剤粉末を送達するのに適した薬剤ディスペンサ装置であって、

(a)ハウジングと、

(b)前記ハウジングに設けられた空気入口と、

(c)前記ハウジングによって閉じ込められた、それによって受入れ可能な少なくとも一つのプリスタパックの開いたプリスタポケットから薬剤粉末を分配する分配メカニズムと、

(d)前記分配メカニズムと関連付けられ、前記空気入口と連通しているマニホルドとを備え、前記マニホルドが、

(i)本体を備え、

(ii)前記本体が、チムニー入口からチムニー出口に気流を方向付けるため、前記チムニー入口及び前記チムニー出口を有するチムニーを規定し、

(iii)前記本体が、チャンバ入口及びチャンバ出口を有するチャンバをさらに規定し、

(iv)前記プリスタパックの前記開いたプリスタポケットが前記チムニー出口及び前記チャンバ入口に隣接して位置付けられたとき、前記気流が、前記開いたプリスタポケットを介して前記チムニー出口から前記チャンバ入口に方向付けられて、前記薬剤粉末を取り込み、かつ前記気流中の前記薬剤粉末を前記チャンバ入口から前記チャンバ出口に運搬することができるように、前記チムニー出口及び前記チャンバ入口が互いに並んで位置し、

前記ディスペンサ装置を患者が吸入によって使用する間、前記ハウジングに設けられた前記空気入口のみを通して、前記気流が前記マニホルドの前記チムニーに引き込まれる、薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 2】

前記ハウジングがシェルの半割り部分二つの噛み合うアセンブリを備える、請求項 1 に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 3】

前記空気入口が保護グリルを備える、請求項 1 又は 2 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 4】

前記マニホールドチューブ入口が、前記空気入口と並列の関係で設けられた請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置

【請求項 5】

前記ハウジングが、前記空気入口を除いて、空気がその中に入ることに對する比較的気密の障壁となる、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 6】

前記空気入口を通して前記マニホールドの前記チューブに引き込まれる前記気流の一部のみが、前記チューブ出口を介して前記開いたプリスタポケットに向けられる、前記請求項のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 7】

前記チューブと前記チャンバの間に一つ又は複数のブリード穴が設けられて、前記気流の一部（流出気流）が前記一つ又は複数のブリード穴を通して前記チャンバ内に向けられて、取り込まれた前記薬剤粉末を運搬する前記気流の一部に破裂的に衝撃を与える、請求項 6 に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 8】

前記マニホールドが、マウスピースと前記分配メカニズムの中間の位置で前記ハウジング内に位置する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 9】

前記分配メカニズムが、それによって受入れ可能な複数のプリスタバックそれぞれの開いたプリスタポケットから薬剤粉末を送達するためのものであり、前記マニホールドがチューブ出口及びチューブ入口の対を複数備え、前記対がそれぞれ、前記複数のプリスタバックのうち一つの開いたプリスタポケットと関連付けられた、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 10】

前記空気入口の断面積が、吸入による使用の際、前記気流が前記マニホールドを通過してその中に引き込まれる前記マニホールドの任意の部分の断面積よりも大きい、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 11】

前記又は各チューブ出口及び/若しくはチャンバ入口が、本質的に円形の輪郭を規定し、1から7mmの直径を有する、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 12】

前記又は各チューブ出口及び/若しくはチャンバ入口が、前記本質的に円形の輪郭にまたがるクロスピースを備える、請求項 11 に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 13】

前記一つ又は複数のブリード穴が、互いに平行に配置された二つの細長いスロット状のブリード穴を有する、請求項 7 又は請求項 7 に従属する場合の請求項 8 から請求項 12 に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 14】

前記一つ又は複数のブリード穴の少なくとも一つが、前記チャンバの内壁の方向に向けられた、請求項 8、又は請求項 8 に従属する場合の請求項 9 から 13 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 15】

前記マニホールドが高密度ポリエチレンから造られた、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 16】

前記マニホールドが、全体的に又は部分的に、フルオロポリマー材料でコーティングされた、及び/又は該材料から成る、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 17】

前記フルオロポリマー材料が、テトラフルオロエチレン (PTFE)、フッ化エチレンプロピレン (FEP)、過フルオロアルコキシアリカン (PFA)、エチレンテトラフルオロエチレン (ETFE)、フッ化ビニルジエン (PVDF)、塩素化エチレンテトラフルオロエチレン、及びそれらの任意の混合物から成る群から選択された、一つ又は複数のモノマー単位を倍数含む、請求項 1 6 に記載の薬剤ディスペンサ装置。

【請求項 1 8】

薬剤製品を分配するための、請求項 1 から 1 7 のいずれか一項に記載の薬剤ディスペンサ装置の使用法。